

2022 年 11 月 25 日
ノイルイミュン・バイオテック株式会社
ir@noile-immune.com

各 位

PRIME 技術を搭載した CAR-T 細胞療法である TAK-102 (NIB102) の GPC3 発現固形がん患者を対象とした 第 I 相臨床試験の中間結果について米国がん免疫療法学会 (SITC) にてポスター発表が行われました。

武田薬品工業株式会社(以下、武田薬品)が治験依頼者であるグリピカン 3 (GPC3)を標的とする PRIME CAR-T 細胞¹⁾療法、 TAK-102 (NIB102) の第 I 相臨床試験に関する中間結果について、第 37 回米国がん免疫療法学会 (Society for Immunotherapy of Cancers (SITC) 37th Annual Meeting、2022 年 11 月 8 日-11 月 12 日 於 ; ボストン) でポスター発表が行われました。

当社が創製した PRIME 技術を搭載した治験療法である NIB102/TAK-102 は、全世界における開発権および販売権を武田薬品がその子会社を通じて有しています。

【発表概要】

GPC3 を標的とした IL-7/CCL19 搭載自家 CAR-T 細胞療法である TAK-102 は、標準治療に不耐又は不応の GPC3 発現固形がん患者を対象とした第 I 相臨床試験の予備的データにおいて安全性及び細胞動態、薬力学検討にて推奨的な結果を示しており、用量漸増試験が進行中である(NCT04405778)。

- TAK-102 を投与された 4 名の患者において DLT (用量制限毒性)、サイトカイン放出症候群、神経毒性を呈した患者は 1 例も認められない。
- 投与患者のうち 2 名は SD (Stable Disease) を達成した。
- TAK-102 は低用量レベルにおいて、好ましい細胞動態を示しており、細胞増加と持続性において用量依存的な増大を示した。
- SD を呈した患者と PD (Progressive Disease) を呈した患者を比較した場合、AFP、LDH といった可溶性マーカーや腫瘍微小環境プロファイルにおいて TAK-102 の有望な活性の兆候が認められた。
- 更なる患者の追加がなされ、評価される予定である。

注釈：

- 1) PRIME CAR-T 細胞：Proliferation-inducing and migration-enhancing (PRIME) 技術を用いてインターロイキン-7 (IL-7)と CCL19 を産生するように改良した CAR-T 細胞。

【プレスリリース内容について】

- ・学会報告に基づくものであり、論文化に伴い情報が変更される可能性があります。
- ・本リリース内容には「将来の見通しに関する記述」が含まれます。

以上